

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	知立市立ひまわり園		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士・児童指導員・公認心理士・作業療法士・言語聴覚士・理学療法士といった専門職が療育・支援に関わっている。	・一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行うことができています。 ・各専門職の視点から日々の生活に密着した目標をきっかけ療育を実施している。また、発達過程にあった遊びを提供している。	・それぞれの専門職によるケース会議を月に1回行い、専門的な視点からのアプローチができるようにする。
2	・保護者の方との共通理解のもと、お子さん一人ひとりからのメッセージを受け止めながら療育を行っている。	・登園時には保護者の方からお子さんの様子を聞いたり、降園時には職員からひまわり園での様子を伝えたりしながら保護者との共通理解が図れるよう努めている。 ・療育中のお子さんからのメッセージを受け止めながら課題に取り組んでいる。	・お子さんからのメッセージをどう受け止めるか、それぞれの専門的な立場からの見解を伝えあいながら、職員間が共通意識のもと取り組む。
3	・職員の資質向上を図るため、様々な研修会を行っている。	・近隣市の児童発達支援センターへ実習へいく機会を設けたり、外部研修を受講している。 ・内部研修として、身体拘束等の適正化に関する研修・感染症予防に関する研修等を定期的の実施している。	・職員一人ひとりが目標をたて、課題として感じていることについての研修を受講する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児と地域との交流の機会がない。	・療育内容として「本人支援」に重点をおいてきたため、今後は「地域連携・地域交流」についても取り組んでいく。	・日ごろの療育内容を生かせるような交流の方法を検討していく。
2	・保護者の方への緊急時の対応に対する周知・発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、入園式の説明のみ留まり、周知機会が不足。	・引き渡し訓練をはじめ、緊急時への意識を保護者の方にも持ってもらえるよう取り組んでいく。
3			